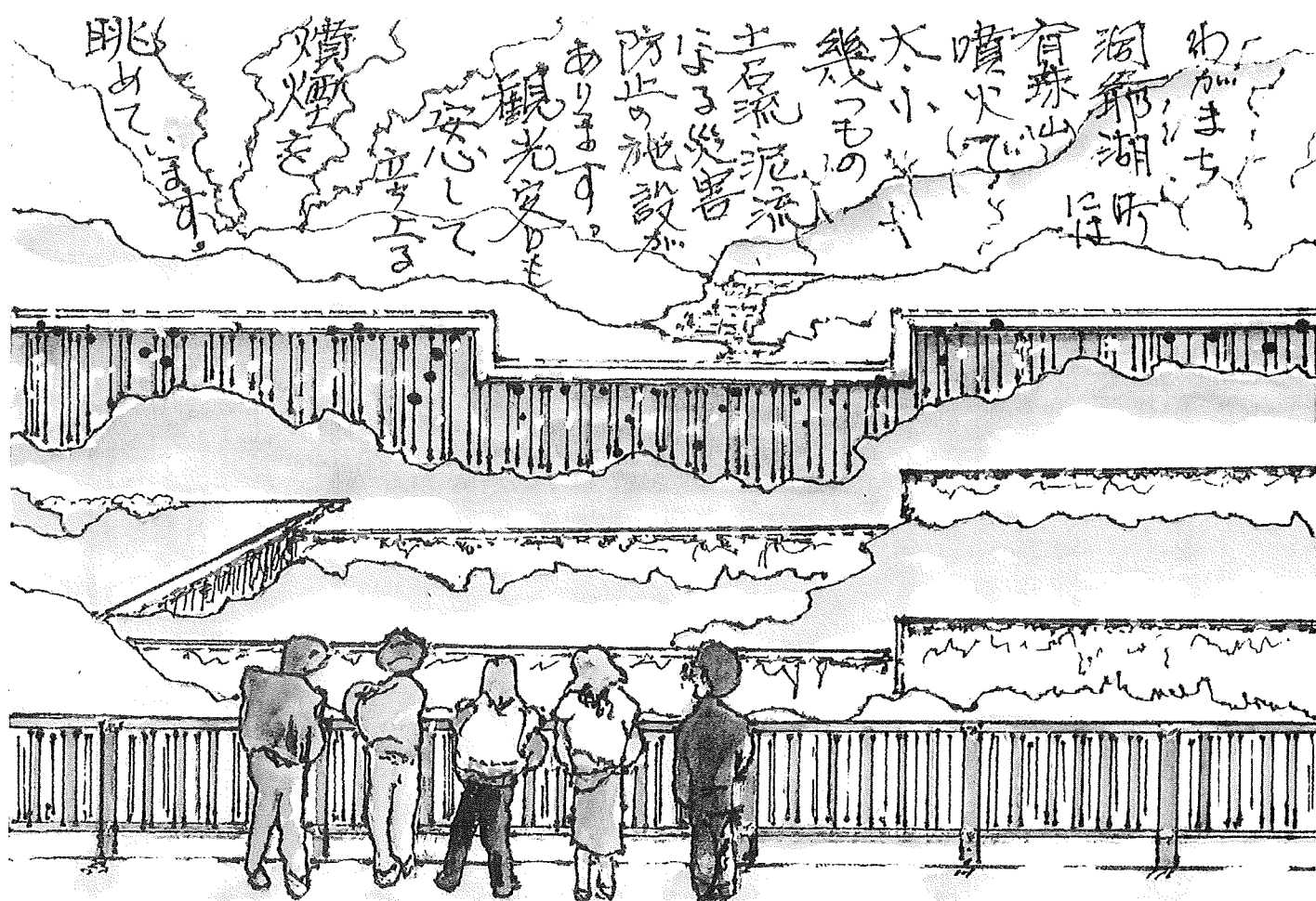


洞爺湖町 議会だより



●定例会・臨時会議案審議等	2
●一般質問・12名	3～14
●委員会レポート	15
●町民との懇談会	16～17
●報告・編集後記	18

No.19

12月定例会

2011.2

選挙公報の発行に 関する条例を制定

第4回定例会が12月15日から20日までの6日間開かれ、議員発議による条例の制定、人権擁護委員候補者の推薦、ホタテ付着物洗浄機購入費の補助等を計上した一般会計外、各会計補正予算、条例の改正など8件の議案を審議し可決しました。

〔主な議案内容〕

人事案件

- 人権擁護委員の推薦
桑原 敏氏
(再任・洞爺町71番地2)

条例の制定・改正

- 洞爺湖町選挙公報の発行に関する条例の制定

議員発議により、議会議員及び長の選挙に充つて、従来の候補者ごとの葉書を自粛し選挙管理委員会が、候補者の氏名・経歴・政見・写真等を掲載した選挙公報を発行するも

ので、次期選挙から適用する。

- 洞爺湖町合併地域振興基金条例の改正

基金の目的とする事業に充てる場合は、処分する事ができるようにするものです。

補正予算

- 一般会計

清水・三豊地区の林道整備事業の中止・来年度事業への変更。ホタテ貝付着物洗浄機購入費の補助。知事・道議選挙費等の補正。

- 国民健康保険・公共下水道事業・介護保険・簡易水道事業各会計事業の確定による補正。

意見書の提出

- TPP(環太平洋経済連携協定)への参加に反対する意見書：可決
- 北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書：可決

第5回臨時会

平成22年11月25日

- 洞爺湖町社会教育施設条例の一部改正

- 洞爺湖町体育施設条例の一部改正

現在その殆どが無料となっている両施設の使用料を、減免の規定を明確にした上で有料化にするのが主な内容で、第3回定例会に提出され、総務常任委員会に付託されていきました。委員会での審査の報告どおり可決しました。

- 洞爺湖町議会議員の議員報酬及び費用弁済等に関する条例
- 洞爺湖町特別職の職員の給与に関する条例

- 洞爺湖町教育委員会教育長の給与等に関する条例

- 洞爺湖町職員の給与に関する条例。4条例の一部改正については、今年度の人事院勧告に準じて改正。

- 一般会計補正予算

今回で第3次となる緊急雇用創出対策事業費550万円を追加。

第1回臨時会

平成23年1月20日

- 洞爺湖町議会議員会条例の一部改正

議員発議により、改選後における議員定数の減(18名を14名)に伴い常任委員会構成等の変更が必要を為改正。

- ・ 常任委員会の数を4↓3へ
- ・ 委員の定数を総務常任委員会7人、経済常任委員会7人、議会広報常任委員会8人とし所管を総務・経済関連の課にふりわけする。

- ・ 議会運営委員会の定数を6人とし、議会公報・公聴の調査及び研究に関することを委員会申し合わせ事項に追加。

- 一般会計補正予算

国の平成22年度補正予算により子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種の助成に伴い253万円の増額補正。



議会のスケジュール

11月

- 8日 全員協議会
- 8日 社会文教常任委員会協議会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 議会広報常任委員会
- 13日 第35回東京あぶた・とつや湖会(松井議員出席)
- 15日 会派代表者会議
- 16日 建設常任委員会
- 17日 第54回町議会議長全国大会(篠原議長出席)
- 17日 社会文教常任委員会
- 19日 総務常任委員会・協議会
- 22日 議会運営委員会
- 29日 総務常任委員会

12月

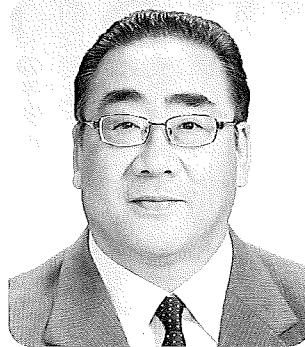
- 1日 建設常任委員会協議会
- 2日 会派代表者会議
- 2日 社会文教常任委員会・協議会
- 7日 総務常任委員会・協議会
- 8日 議会運営委員会
- 15日 第4回定例会

1月

- 14日 議会広報常任委員会
- 17日 全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 17日 総務常任委員会協議会
- 20日 第1回臨時会
- 25日 例月出納検査・定期監査
- 25日 議会広報常任委員会
- 26日 社会文教常任委員会
- 27日 社会文教常任委員会・協議会

「子宮頸がんワクチン」「肺炎球菌ワクチン」 「ヒブワクチン」無料接種を年度内に実施！

七戸輝彦(公明党)



質問1

町内巡回バスの
将来のあり方について

問 町内の巡回バスは何台が
どのように運行している
のか。また、年間委託料は、

答 26人乗りバス1台で1日
3コース・9便を運行。
バス会社への委託経費は年間

646万円となっています。
646万円となっています。

問 区間での最多乗車人数は
何名くらいか。また、年
間利用者や1便あたりの平均

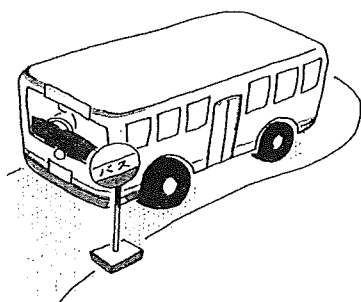
利用者は、
利用者数は、

答 最高の時間帯での1便あ
たりの平均乗車数は8人

強で、1区間の最高乗車数は
18人となっています。また、
年間延べ利用者は1万2千
人程です。

問 アンケート調査などを実
施し、より利便性の高い
運用を図るべきではないか。

答 現在の運行スケジュール
は平成20年度に改正した
ものです。これについては事
前に説明会を実施し、ある程
度の合意の中で時間帯を設定
しています。時間帯の合わない
部分等もありましたら、ア
ンケート調査も検討したいと
考えています。



質問2

子宮頸がん予防ワクチン
接種の無料化について

問 子宮頸がん予防ワクチン
接種についての質問は過
去にも2度行っている。新・

旧町長からは「近隣の動向を
見ながら検討」「国の動向を
見ながら検討」との答弁があ
った。国も補助制度を打ち出
し、近隣自治体も無料化をし
た今、洞爺湖町も決断すべき
では。また、肺炎球菌・ヒブ
ワクチンについても同様に伺
いたい。

答 11月26日に成立した国の
22年度補正予算の中に、
「子宮頸がん予防ワクチン」
「ヒブワクチン」「小児用肺
炎球菌ワクチン」の助成が含

まれています。これに基づき
当町も無料化接種を実施する
ことに致しました。子宮頸が
んワクチンについての対象者
は中1〜高1年齢の女子で、
約150名です。ヒブワクチ
ン、小児用肺炎球菌ワクチン
の対象者は0〜4歳児で29
0名を見込んでいます。

問 3種類のワクチン接種は
22年度中に行うのか。

答 本年度中の実施を考えて
います。

質問3

財政健全化計画の
見直しを考えているか

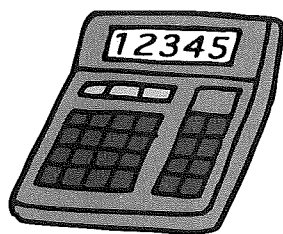
問 洞爺湖町の財政健全化計
画の中で、固定資産税の
超過課税がうたわれていて、
平成24・25年の2カ年に限り、
年4、200万円の割り増し
課税を行うものとされている。
1世帯当たり約7%ほど固定

資産税が上がる事になり、リ
ーマンショック以来の不況が
続く洞爺湖町の企業や住民に
過度な負担を強いることにな
る。超過課税の見直しを行う
考えはないか。

**固定資産税の超過課税な
どを見直し**

答 国の交付税の増などによ
り、早期健全化団体から
の脱却が、計画より1年前倒
しで出来るような状況となっ
ています。

平成24・25年に予定してい
た固定資産税の超過税等は、
見直しを考えています。



選挙公約等を新年度予算に

どう反映させていくのか



質問1

真屋町政2年目に向けての
町政運営について

問 真屋町長としての初めての
の予算編成に向けた基本的
な考え方は。

答 住民生活の安全と安心を
支える諸施策を推進しま
す。第1に町ににぎわいと活
気をとれもどすための観光施
策。第2に環境に配慮したク
リーン農業・地産地消等の推
進、地球温暖化防止等森林が
持つ機能を発揮できるような
農林業への支援、ホタテ貝付
着物対策等や、虻田漁港大磯

分区分整備等の漁業振興策。第
3に住宅リフォーム事業への
支援、道々工事の地元受注へ
の働きかけ等の商工業振興策
等、地域の活性化につながる
ような事業を23年度予算に取
り込んでいく考えです。

問 選挙を通じても財政健全
化団体の脱却を強調して
いたが、そのために町の経済
や町民生活に影響を与えてい
ないか。

答 財政健全化を進める一方、
若干、攻めの姿勢で行き
ます。少ない予算で大きな効
果を挙げる方策を講じると共
に、庁内に地域振興担当職員
を配置したので、地域活性化
プログラム等、活気あふれる
ようなまちづくりをして行か
なければならぬと考えます。
問 選挙公約「10の約束」の
具体的な進め方は。(任
期の前半に実施するもの、後
半に実施するもの等)

答 早期健全化団体からの脱
却を軸に、洞爺湖温泉、
洞爺地区の観光の振興・活性
化、農業・漁業の振興、雇用
の場の確保と定住対策の推進
また、後半の部分では、とも
に助け合い人に優しい健康福
祉のまちづくり、国際色豊か
で人間性あふれた青少年の育
成と文化・スポーツ・芸術の
振興策を進めていきます。

質問2

道々洞爺虻田線・インター
通りの延伸の可能性と
その時期は

問 北海道の基本的な考え方
をおさえているのか。

答 道々の整備条件として都
市計画道路の決定が必要
です。そのため、平成17年8
月に虻田ポロモイ線・虻田ピ
ワオク線・板谷川大通路に至
る延長1840mの都市計画

小松

晃(町民連合)

道路の変更決定を行っていま
す。

対し今後も強く要望してい
ます。

早期整備にあた
っては必要に応じ
町も協力すること
で、今後も積極的
に要望してまいり
ます。

問 町としては延
伸に対する具
体的な行動は。

答 次期事業の実
施及び、道々
昇格について優先
的に要望活動をし
ています。

また、当該道路
は、避難道路の整
備でもあり、道に



虻田ピワオク線・セイコーマート高砂店から入江～泉方面

質問は要約されています

議会だよりでは質問の内容を要約して載せております。質問全文
については、スペースの都合から載せることができませんが、詳し
く知りたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合支所に会議録
が置いてありますので、どうぞご利用下さい。



地産・地消による 地域循環型経済活性化を！

佐々木 良 一 (有志会)

質問1

洞爺湖温泉誕生100年
記念事業の成果と今後の
取り組みについて

問 記念事業の成果とまとめ
について伺います。

答 町民の皆さん、町内各団
体、近隣市町、企業等の
協力を頂き交流が深まったこ
と、又全国的PRが出来たこ
と等です。また、アニメフェ
スタ、食本物プロジェクト、
マイムマイム等継続で検討す
ることとなりました。



問 各事業を通じ温泉観光が
どう変わるのか。

答 具体的にはグルメ食品開
発等料理研究会の協力を
頂き、今迄と変わった進歩が
見られました。他の事業と併
せて数年続けて行く中で方向
性が見い出せるものと思いま
す。

問 食本物プロジェクトを通
して一次産業と観光産業
を結びつけて行く域内産業振
興・地産地消の取り組みを強
化する仕組みづくりは。

答 食の魅力化のため、地場
産品を販売する体制確立
のため、年度内に法人設立に
向け努力して行きます。

問 今迄にも地産地消の動き
はあった。本格的動きに
する為の取り組みは。

答 食の見通しが魅力的観光
地作りの気運が高まって
きました。赤毛和牛等、食の
素材の確立と農産物・水産物
等の地場産品提供の条件が整
ってきました。行政も一体と
なって支援していく体制づく
りをします。

質問2

人事評価制度について

問 人事評価制度導入検討委
員会のねらいと今後のス
ケジュールについて。

答 制度導入を前提としたも
ので、評価シートの作成
を進め、制度の構築ができ
たら6月から試行に入りたい
と思っています。

問 評価制度に民間の考え方
を取り入れる考えは。

答 評価のしかたの研修会等
に取り入れたいと考えて
います。

問 基本的に昇給に差がつか
ないのは意味がないと思
うが財源について伺います。

答 同感ですが評価の公平性
が大事で、まず制度の構
築を進めたいと思います。

質問3

まちづくり・自治会活動と
個人情報保護法の関係は

問 この法により行政執行上
苦慮している点は。

●なぜ今人事評価なのか●(ワーキンググループ発行・人事評価ワーキングニュースより)

- ・職員数の減少～洞爺湖町定員適正化計画では、今後10年間で31人の職員数が減少する。
- ・危機的な財政基盤～財政健全化団体に指定されるなど厳しい状況。
- ・住民ニーズの多様性～少子高齢化や経済状況により、住民が行政へ求めるニーズが多様化している。
- ・地域主権～地域主権による市町村の自己責任、事故決定が増大する。

★職員一人ひとりの能力の開発と発揮が必要!!

★能力開発の一つの手法として、上司が部下の仕事や能力を適正に把握し、公正な評価のもとに強みを伸ばし弱みを克服させじんざい育成に主眼をおいた人事評価制度の導入。

答 例として自治会から公営
住宅の入居者がわからな
いと相談がありました。

問 有珠山災害対応、老人や
弱者対応上問題がある。
入居時に本人に諮って知らせ
る事はコミュニティ作りにと
って大切と思うが。

答 現在の自治会加入の意願
いとあわせ、本人確認を
していきたいと思います。

急増する農林被害、 エゾシカ対策は広域連携で！

宮田 敏夫(有志会)



質問1

エゾシカ対策について
(有害鳥獣対策)

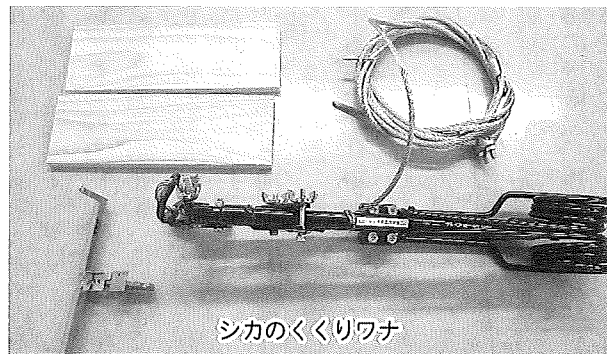
問 農林被害は増加していると思うが。

答 昨年度から洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会を設置し、全農家を対象に調査した結果、主に小豆、ビート、馬鈴薯など約75ヘクタールに被害がありました。地区では、香川、大原、成香、花和が多くなっています。今年度は、調査中です。

問 「ワナ」による捕獲の効果と課題は。

答 昨年度、12頭捕獲しましたし、今年度は既に6頭捕獲しました。この「くくりワナ」を122基確保します。アライグマは、3頭捕獲しました。問題点としては、シカの「くくりワナ」はワナ猟の免許が必要なこと。農家の方が自らワナをかけられるように、免許取得に向けた講習会を計画しています。アライグマは外来生物である

りますので、狩猟免許がなくても町の許可で駆除できます。



シカのくくりワナ

問 「中島のシカ」は鳥獣被害防止法の対象になるか。

答 中島は、鳥獣保護区域になっ

問 事業の効果的推進には近隣市町との連携は欠かせない、また国や道の役割もあると思うが。

答 今年、道ではエゾシカ対策協議会を、胆振でもエゾシカ対策連絡協議会を設置しました。近隣市町も鳥獣被害防止計画を策定しましたので、連携した具体的な方策を講じるように努力していきます。

質問2

公営住宅の適正な運営について

問 長期不在者に対する対応は妥当か。また条例第42条第1項第4号をどのように理解するか。

答 公営住宅の入居者のなかに長期不在者が若干います。やむを得ない方々については柔軟に対応しなければならぬと考えています。正当な理由がない方の対応には大変苦慮しています。町営住宅の目的等を説明して、長期不在を解消するようお願いしていますが、明け渡しの請求はしていません。条例第42条第1項第4号は、入居を待つ方が多くいること

からこの条文を作ったものです。不公平のないよう厳正に対処してまいりたいと考えています。

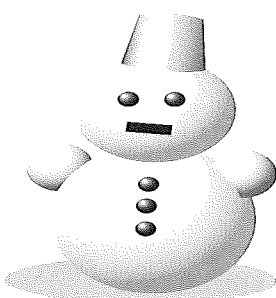
ひとくちメモ

〈洞爺湖町条例第42号〉

町長は、入居者が次の各号のいずれかに該当する場合において当該入居者に対し、当該町営住宅の明渡しを請求することができます。

〈第1項第4号〉

正当な理由によらないで15日以上町営住宅を使用しないとき。

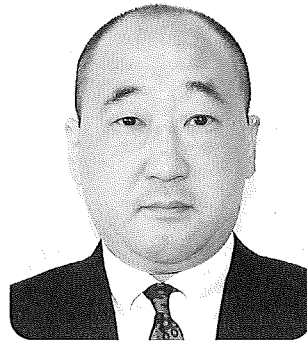


子どもたちから始まる町づくり

子ども議会の開催を

下道 英

明(町民連合)



質問1

国際交流、国内友好都市交流、駅交流センターの活用、現況と今後の展望について

問 中国黄山市との国際交流の展望は。

答 登別洞爺広域観光圏として中国へのトップセール・プロモーションを実施しましたが、観光交流、人的な文化交流の輪を町民レベルで深めていけるように工夫いたします。

問 神奈川県箱根町・香川県三豊市との交流事業促進として、「町内3中学合同の箱根町親善修学旅行」「三豊市フレンドリーツアー」の町内の3小学校の対象拡大など、小さな町でも子どもに大きな夢を与えられないか。

答 町内の生徒が同じ体験を通して同郷意識・共通意識を持ち友情を深めていく、郷土の良さを認識するのは素晴らしいことだと思います。

しかし、学校修学旅行実施基準、費用の問題、学校間の共通意識、事前準備の問題、相手側の問題など課題が多く、実施出来る認識には至っておりません。

質問2

洞爺湖中島の環境について

環境について

問 昭和59年に設立した「洞爺湖エゾシカ対策協議会」が解散しましたが、新たな対策・行程は。

答 環境省、北海道、後志森林管理署に解散報告し、新たな会の設立について協議し、洞爺湖全体の自然環境保全として「洞爺湖生物多様性保全協議会」にも具体的対策の検討の仲間に入って頂きたいと考えております。

質問3

洞爺地区で以前実施した「子ども議会」復活について

問 10年前、洞爺地区で実施していた「子ども議会」を復活させ、洞爺湖町の未来を担う子ども達が、地域や社会について主体的に考え、意見を表明する機会を作るべきではないか。ぜひ実現して欲しいのですが。

答 行政の中身を小中学生がよりよく理解し、児童・生徒が町について、それぞれの思いや未来について話す機会という、非常に大切なことだと理解します。

教育委員会、町長部局が中心になるか、今後関係の課で協議をしまして、具体的に実施に向けて努力したいと思っております。夢のあることをぜひ実現したいと思えます。



三豊市フレンドリーツアー・そば作り体験



議事堂を見学する虻田小学校の子どもたち

※下道議員の質問時に、小学生20名が傍聴していました。

ふる里の山と森を守るのは 都市計画審議会で

松井保明(有志会)



質問1

地域の活性化について

問 機構改革によって新しく設置された地域振興グループによって、地域の中で抱えている課題(空き店舗)についての足がかりと見通しについて。

答 現在、本町地区の空き店舗は大小合わせて10店、温泉地区30店、洞爺水の駅周辺で6店あります。今は、所有者の聞き取りにより状況を確認しています。

問 事業所誘致また起業を目指すことに町として対応すべき環境整備(誘致条例の制定、支援体制化)についての考えは。

答 町の財政状況から、新規企業への優遇措置は難しいと思っています。

問 新年度の予算編成にあたり具体的な対応はあるか。財政健全化計画を執行している中で、事業の優先順位を決めて実施できるものを選択して新年度に向けて取

組みます。

質問2

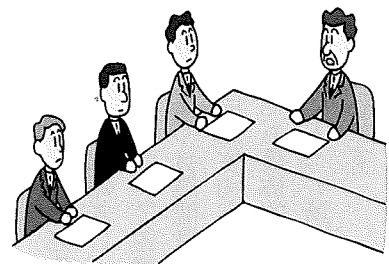
高齢者の足の確保について

問 高齢者の買い物バス、通院バス、福祉バスなどの交通安全対策の面からの町の考えは。

答 現在、バス事業に町の単費で約2千万円支出しています。高齢者の利便性と安全を最優先に委託しています。今後乗り合いタクシー的なものも検討する必要があると思われる。

問 「デマンド方式」(予約制)によるバス運行対策についての考え方は。

答 事前にバス迂回運行を申し込むシステムとか予約



質問3

国土保全について
(民有林及び民有地)

の連絡に必要な施設、場合によってはオペレーターの人件費が掛かるということ。一般路線に比べて運行経費が多くなるデメリットがあり、財政負担の面から不可能だと思います。

問 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく地域公共交通総合連携計画作成の考えはあるか。

答 室蘭市を中心とした定住自立圏構想の中で室蘭市への通院等がでくるので、交通網の整備を検討することになっています。

町内巡回バス、福祉バス等については、今の状況がベストと思われるので継続してまいります。地域公共交通総合連携計画については、広域的な事業という観点から今後検討してまいります。

問 外国人による民有林、民有地の売買について、い

ひとくちメモ

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」

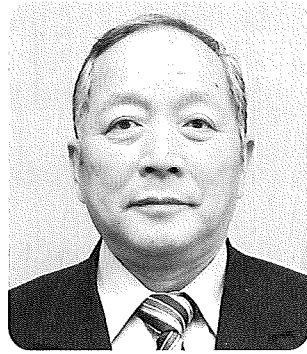
今まで道路運送法の対象というのは、バス、タクシー事業だったがそれに限らず、道路運送、鉄道事業、軌道等、海上輸送等があるという事で、それを包括した連携強化という検討が必要という事で平成19年に新しく法律が制定。

かなる対応があるのか。
答 現時点で外国人による売買の禁止、チェックする法律はないので対応策はありません。
問 町条例や要綱の制定についての考えは。
答 洞爺湖町都市計画審議会を十分に活用して対応してまいります。

町立洞爺高等学校の管理運営について

大西

浩(有志会)



質問1

老朽化が著しい校舎及び体育館の補強、改善を早急に

問 昭和25年建築の体育館は築60年、校舎については築49年、過去において耐震診断は行ったのか、その結果は具体的にどのようなものであったか。

答 校舎については平成18年度に1次診断で著しく悪い結果というものはなかった。平成21年度の2次診断は実施していません。

体育館は木造のため、耐震診断の対象にはなっておりません。

せんけれども、腐食等がかなり進んでいます。そういうことから、危険性があると判断していますが当時の設計図とか、図面等が残念ながらありませんので、その調査は今のところ、行えない状況です。

問 危険建物ということで、体育館は使用しているが、計画的に専門の方に見てもらい補強しないと万が一のときに大惨事につながるおそれがあるので計画的に補強すべきと思うが。

答 どなたが見ても老朽化が著しいという、状況には間違いありません。建物の構造上の詳細にもう少し時間をかけ検討し最低限の補修を重ねていくのが今の状況とっております。

せんけれども、腐食等がかなり進んでいます。そういうことから、危険性があると判断していますが当時の設計図とか、図面等が残念ながらありませんので、その調査は今のところ、行えない状況です。

質問2

寄宿舎の使用料について

問 寄宿舎には今年度5月1日現在で、全校生徒67名中57名の生徒が寮生活しています。

寄宿舎使用料は1名1ヶ月8千円と聞いているが、参考までに近隣の高校寄宿舎使用料はいくらぐらいか。

答 近隣市町村の状況はまちまちですが、寄宿舎と賄い費(朝晩の食事代、昼の給食費)等が合計して、ニセコ高校では3万5千円、留寿都高校では2万5千

500円、剣淵高校では3万700円で、町立洞爺高校においては2万5千400円となっております。



洞爺高校・寄宿舎(洞青寮)

問 当町の財政状況から見ても、寄宿舎使用料を見直し、町財政負担の軽減を図るべきと思うが町の考えは。

答 平成16年頃に寄宿舎使用料を見直そうという話しはありましたが、当時の経済情勢や減免等の関係で見直しができなくて共益費(1名1ヶ月500円)でいただく事になりました。

今後の見直しにつきましては検討を進めさせていただきますが、生徒募集等いろいろな事情を考えますと慎重に進めたいと思っております。

本会議をインターネット中継

是非一度、議会HPにお越し下さい。



洞爺湖町H P
議 会
議会中継

夏の豪雨災害における 災害復旧の見通しは

沼田 松 夫(有志会)



質問1

災害復旧について

問 通称武四郎坂の復旧の見通しは、年度内に可能か通行止めによる影響は。

答 10月13日に国の査定を受け、10月29日に発注し、3月30日まで完成し、3月31日には開通の予定と聞いています。

通行止めによる影響は、
①地域住民に対して遠回りになる不便が生じています。
②観光等に対するもので、水の駅の集客は前年比で、8月は1,143人の減、9月は2,134人の減。マリンキャンプ場は8月は1,389人の減、9月は1,600人の増。水辺の里財田キャンプ場は、8月は1,250人の減、9月は250人の減であります。他の施設や民間事業者にも同様に通行止めの発生によって減少の傾向になったと言えます。
③冬期間の国道230号線の猛吹雪による通行止めの際の

問題であり、今後有珠復旧事務所と、この対策について協議を予定しています。

問 三豊線(道道洞爺虻田線)の見通しは。

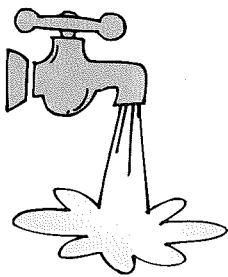
答 道では、12月中に国の災害査定を受け、ゴールデンウィーク迄には開通できるよう努力すると聞いています。

問 その他の災害復旧は。

答 15ヶ所ありますが、虻田ノットコ線、花和1号線は国の査定を終え、来年度に復旧工事を行います。センチュリーヴィラの地滑り災害は、12月中に査定を受け来年度復旧工事を行います。その他はすべて発注済みです。

質問2

水道の水質について



問 水源は何通りあり、それぞれの水質の状況は。

答 町の水道水の水源は、上水道事業4ヶ所、簡易水道事業1ヶ所の全町で5ヶ所あります。水質は、蒸発残留物質はいずれも1㍑に対して、本町地区の配水は315mg、洞爺湖温泉・花和・月浦地区の配水は111mg、洞爺地区の配水は77mgです。

問 特に入江地区の水質が健康に良くないのではと話す住民がいるが心配ないか。

答 水質検査は、日々の残塩測定のほか年1回50項目の基準で検査を行なっており、生涯にわたって飲用しても人体に影響がない基準になっています。

質問3

スクールバスの要望について

問 入江地区、泉地区へのスクールバスは考えられないか。

答 国の補助制度があるが、小学生で4km、中学生で

6km以上の基準に達せず町独自で運行することは難しいと思います。

問 巡回バスの活用はできないか。

答 漁家団地方面の運行は、委託先の道南バスと、路線延長や運行時間、費用について、また現在の利用者等とも今後協議検討させていただきたいと思っています。

議会を 傍聴してみませんか

簡単な手続きで、どなたでも議会の傍聴ができます。ぜひ一度傍聴にお越しください。
次回定例会は3月3日に開催を予定しています。





住宅リフォーム助成は要件の 緩和と予算増額で継続実施を

立 野 広 志

質問1

学校教育施設の計画的整備と郷土の学習促進について

問 町立の小・中・高における教育施設などの整備が求められるが、整備・改善の計画を明確にして対応すべきではないか。

答 指摘されるように、修繕計画等を持つことが当然だと思えます。これについては、今後十分検討して、進めていきます。

学校から要望があれば、できるものは早急に行うとともに、予算のかかるものについては、しっかりとした計画を持って、出来るだけ早い段階で取捨選択し、優先度を持って実施します。

問 小中学校の有珠山副読本である、「火の山の響」「火の山の奏」の活用を促進すべきではないか。

答 現在では、各学校で殆ど活用されていないのが現状です。有珠山についての学習を進めることは非常に必要

なことです。部分的にも活用できるように、小学校は来年度からの指導計画の中で、中学校は活用のための指導を行います。

問 子どもや大人を対象とした郷土の文化・歴史・遺産を学ぶ体験学習などの取り組みを促進すべきでは。

答 火山学習、あるいは防災教育、減災教育を今以上に充実していかなければならないと認識しています。新年度に向かって、町民のみならずを対象にした講習会、教育委員会と連携した子どもたちを対象とする学習制度を設けてまいります。

質問2

経済効果が高く雇用確保に結びつく、住宅リフォーム助成制度の継続実施を

問 長年議会で求めてきた「リフォーム助成制度」が実施されたが、実施の経緯と現在までの波及効果は。

答 立野議員の制度実施を求める質問とともに、洞爺



湖町商工会からも実施の要望を受け検討した結果、体制的にも少ない金額でより多くの波及効果があることも確認して、実施するに至りました。現在までの実績は38件。これにともなう工事費総額は予算措置の10倍を超える4,781万4千円です。1件当たり125万8千円の工事費です。

問 新年度に向け、対象工事の要件の緩和や手続きの簡素化などで、もっと使い勝手の良いものに改善し、予算

額も増額して実施する考えはないか。

答 ご指摘のとおり、国や道の補助制度等の活用を検討もし、町内の経済活性化、また、経済波及効果が図れるように、次年度には予算を増やすことも検討します。

質問3

TPP(環太平洋連携協定)参加は、農・漁業と地域経済を壊滅させるもので、断固とした反対を貫くべきではないか。

問 TPPに対する認識と地域産業や地域経済への影響、管内自治体首長や産業団体とも連携した反対行動を起こす考えはないか。

答 町としては、例外なき関税撤廃を原則とするTPP参加は断固反対です。農業、漁業はもとより、当町の地域産業に与える影響は大変大きいと考えます。

日本の国土を守るという観点から、ぜひ、これには大きな声で反対をこれからも続けてまいります。

(仮)定住対策協議会の設置を！ 地域や各事業の特色を生かして

千葉

薫 (有志会)



質問1

地域担当職員について

問 町長の執行方針の中にも本制度の定着が重要であるといわれていますが、現在生かされていないと感じています。現況及び今後についてこの制度の運営をどのように考えていくのか。

答 この制度は原則、自治会からの求めに応じて活動することが基本ですが、そればかりだと一方通行になります。職員みずから自主的に活動に参加するよう要請をしています。ただ、まだそういう姿勢になっていません。ただ制度発足当時は自発的に参加する職員が増えています。

気軽に町の職員が地域の方とコミュニケーションがとれるようなシステムづくりが必要で、そのためには常日頃から自治会の方々と色々な話し合いができ、それが町政に役立つものであれば協働で製作していく、そのような事ができれば良いと思います。

今後ともそのような環境づくりに努めてまいりたいと思います。

問 自治会の方や職員にこの制度が理解されるような努力が足りないと思うが。

答 自治会長の中にも温度差があるのかなという場面も感じられるので、制度の趣旨をよく説明し、住民の方にもわかりやすいような例えば広報とかホームページなどで周知していきます。職員の教育等については、これからもしっかりと対応してまいります。

質問2

定住・空き店舗等
対策について

問 町長の施策の目玉の一つとして、定住、企業誘致、空き店舗対策、空き家の活用などに力を入れるとの事ですが、現在取り組んでいる事や次年度以降に向けて具体的な考えは。

答 定住策では外への発信を活発に行えるようホーム

ページの充実、企業誘致、空き店舗については他市町村を参考に当町に合う施策を思案中です。空き店舗対策では、洞爺湖町空き家情報登録制度を設けており、空き家の所有者に登録して貰い、それをホームページに掲載し情報を発信しています。

今後春先に『ちよつと暮らし事業』を展開する予定で6泊7日程度、格安で洞爺湖温泉に宿泊して頂き町内の状況などを紹介し、定住を促していきたいと思っています。

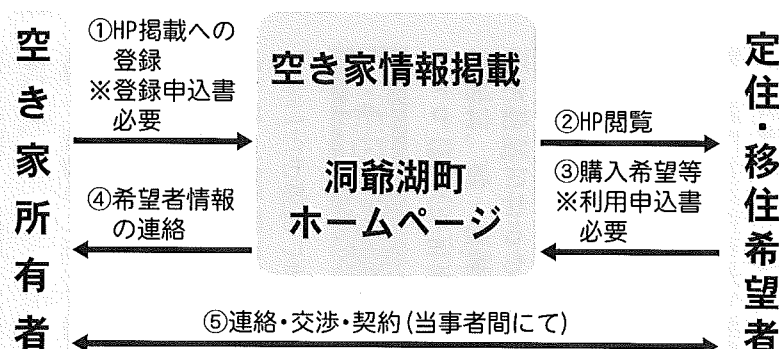
今後できれば早い時期に町長の諮問機関みたいな、また討議できるような組織を立ち上げ、町民の皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

洞爺湖町空き家情報登録制度 「空き家バンク」について

洞爺湖町では、定住・移住を進めるために、町内の空き家情報を「洞爺湖町ホームページ」で公開し、定住・移住を希望されている方々への橋渡し役として、情報提供させていただいております。

洞爺湖町空き家バンクのしくみ

■情報提供のしくみ





広域連携や官民一体となった取り組みで 魅力ある観光地づくりを

五十嵐 篤 雄 (有志会)

質問1

登別洞爺広域観光圏
整備計画について

整備計画について

問 国土交通省による「観光地づくり」の観光圏整備事業補助制度の概要と活用について。

答 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成により地域の活性化を図るもので、事業が認定されると、ソフト事業で単年度2,500万円を上限として40%の補助が5年間受けられ、また旅行業法の特例も認められます。

問 広域観光圏の認定が見送られました。どのよう

答 実施計画や個別事業における各事業所の連携・役割分担が明確でないこと、インバウンド(海外から日本への観光客を指す意味)への取り組みに具体性が足りないこと、計画を修正して来年3月の認定を待っているところ。修正して来年3月の認定を待っているところ。修正して来年3月の認定を待っているところ。



問 今回実施した中国プロモーションを通して感じられた洞爺湖観光への手ごたえは。

答 赴いた各市で、北海道観光のニーズはすごく高いと再認識をしました。安徽省黄山市では、まず観光関係者・旅行業者・報道関係者の方々に洞爺湖を認知してもらうことが肝要と思いました。また早い時期に相互交流が図れるようにしたいと感じています。

問 いくつかの課題も見つかったと思われるが、どのように解決(対応)するのか。

答 航空交通アクセスに関して路線及び価格の問題について北海道全体で対応すること。この圏域だけでは、大きな買物に対応できづらいことから札幌周辺との連携も視野に入れていること。相互の旅行業者によるチャーター便での観光客の輸送の実現。観光資源であるジオパークの整備や、新たな資源の発掘を検討することなど、洞爺湖温泉が魅力ある温泉地にまたなれるよう観光業者とがんばっていきたいと考えています。

質問2

洞爺湖町の所有する各種施設の維持管理について

問 学校施設・社会教育、体育施設・コミュニティ施設の維持補修が計画的に行われているのか。

答 学校施設については各学校、保育所からの要望に基づき優先度・必要性・安全

性を判断して予算要求をしています。社会教育・体育施設については各種団体からの要望に基づき安全性を第一に緊急度・有効性を勘案して予算計上をしています。コミュニティ施設については管理人や自治会からの意見や指摘に対して予算要望をしておいて対応しています。21年・22年度にいずれの施設も、活性化臨時交付金で多くの改修や修繕が実施されました。本年度も交付金があることから活用を考えています。

問 計画的な管理で施設を少なくない費用で有効に使用するために有料化する施設の使用料や一般財源を基金化しては。

答 使用料は施設の維持管理費の一部負担であることから、また、一般財源についても現状の財政状況の中では基金化は難しいと思います。



23年度に向けての 活性化対策は

板垣 正 人(公明党)



質問1

経済活性化対策について

問 町内経済が冷え切っている中、町として23年度に向けて活性化対策をとるべきと思うが町の考えは。

答 現在、平成22年度の補正予算、地域活性化交付金が決まり、そういう中で、きめ細かな交付金、または住民生活に光を注ぐ交付金ということで、地方公共団体に支援がされますので、町内の経済の活性化に結びつくような活用を図ってまいります。また、今年度行ったイベントや各事業も、活性化につながるものについては、来年も継承してまいります。

問 観光振興としての現在行われている国内旅客誘致と別に、海外(特に中国等)の町独自の観光誘致策を行うべきと思うが町の考えは。

答 当町としては、今まで中国等に十分な誘致活動を行ってこれなかった部分があります。姉妹都市である箱根

町は年に数回トップセールスでいろいろなところを訪問され、その効果があるとお聞きしておりますので、台湾、中国等を含めて、誘致活動を行えるよう新年度で考えてまいります。

質問2

安心・安全の

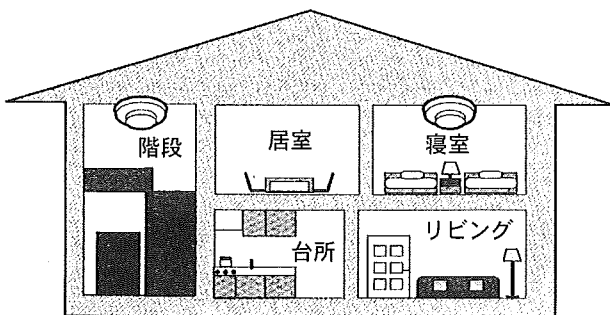
町づくりについて

問 平成23年5月で義務化される住宅用火災警報器に

住宅用火災警報器設置期限せまる!

設置例

2階建てで2階に寝室・居室がある場合



各寝室

寝室の存する階の階段

設置期限は平成23年5月31日までです!

ついて、町としての取り組みは。(特に高齢者について)

答 洞爺湖消防が主に取り組んでいる状況で、町としては具体的な対応は行っておりませんが、今後、消防とも連携を持ってまいります。

問 「ひとりの不幸も見逃さない住みよいまちづくり運動の町」としての取り組みは。

答 独居老人等の安否確認、ふれあい訪問活動や、独居老人への声かけ運動等々、

また調査活動として、高齢者の実態調査などの活動を各自治会で行っております。今後この運動の推進を引き続き取り組みをお願いしておりますが、現在それぞれの地域自治会での温度差がありますので、関係する方々のネットワークも形成して、情報の共有を図りながら支援体制作りを中心に進めさせていただきます。

問 町有車に「防犯パトロール中」の標示が少なくなったと思われる。また、「かけこみの家」等も同様と思われるが町の考えは。

答 防犯パトロールの標示は今年度の予算で対応できるものは対応し、対応できないものについては、次年度予算で対応して、公用車を中心に装着して、犯罪を未然に防ぐ抑止力になるよう努力してまいります。また、「かけこみの家」については、ステッカー方式で行ない、校長会を通して、学校から子供たちに指導してもらうように、協力要請をお願いしてまいります。

委員会 活動レポート

建設常任委員会

■調査事項

- ①旧成香小学校改修工事
- ②旧大原小学校改修工事
- ③湖畔通り線空洞化調査業務

■調査日 11月16日(火)

■調査結果

- ①旧成香小学校改修工事の主な点は外壁塗装1、438㎡や図書室・校長室のカーペット張り替え等である。この施設は学校法人が使用を開始している。費用は1、055万円
- ②旧大原小学校改修工事の概要は体育館の窓枠改修と外壁の一部張り替え工事である。費用は270万円。すでに社会福祉法人が使用を開始している。
- ③以前より湖畔通り線(洞爺



旧大原小学校

湖畔の遊歩道)に、土砂流出による陥没が確認されていたことから、手押し式レーダー探知機による空洞調査を行ったものである。レーダーが反応した個所が43カ所あり、詳細調査の結果3ヶ所で空洞が確認され、埋め戻し工事により補修を行った。今後も定期的な調査が必要と思われる。

社会文教常任委員会

■調査事項

町立小中学校の状況について

■調査日 11月17日・26日

■調査結果

○学力向上の工夫と努力がなされているが今後とも向上に

努力されたい。

○総合学習時間が短縮されるが、地域を越えた校外学習や郷土の歴史や文化などを理解する学習も検討願いたい。

○いじめに関して大きな問題は起きていないが、発生を未然に防ぐ体制が必要である。

○児童・生徒数の推移は、ここ数年微減する状況である。複式学級が一校で実施されているが、積極的な支援が必要である。

○教育施設の修理や整備の要望が寄せられている。計画的な措置を願いたい。

○高校については、道立、町立を問わず地域を越えてあり方を議論すべきである。

○電子黒板の活用が進んでいない。研修やノウハウの提供で有効活用していただきたい。

総務常任委員会

■調査事項

各産業団体の現況調査

(1)洞爺湖町商工会 11月19日

(2)住宅リフォーム助成制度の効果…次年度以降も実施してほしい。また、店舗等住宅以

外も対象にしてほしい等の要望が多いので、町・商工会とも実施に向けて検討されたい。

②臨時雇用対策事業に係る具体的な対応について…現況として洞爺駅前大通り植栽事業等、5事業を地域住民や事業所の協力を得て行っており、観光客や町民に喜ばれている。課題として、単年度で終わることなく継続して実施してほしい。また、必要に応じて町の支援も検討されたい。

(2)NPO法人洞爺まちづくり観光協会 11月29日
現況としては、NPO設立後店頭・ネットでの物販(農産物・酒類等)が伸びた。また、地域に密着した事業を展開している。道道の通行止により観光客が減となり、売り上げも減少した。

■要望事項として

①多目的トイレの設置

②道道洞爺峠田線の危険個所の安全対策。

③水の駅向かいの広場に足湯等の設置。

協議も含めて前向きに対応されたい。

(3)社団法人洞爺湖温泉観光協会 11月29日

今年度上半期の入り込み状況は、対前年比94%の166万人。洞爺湖温泉誕生100年記念事業として、1月から12月までタイアップ事業を含め9事業を実施。各イベントとも町内外からの多くの観光客で賑わい総じて成功裡に終わった。

観光客が減少する中、洞爺湖温泉誕生100年記念事業等でも集客に対する努力が評価される。



3常任委員会からの報告

昨年10月26・27日に行われた、町民と議員との懇談会の内容をお知らせした「議会だより臨時号」で3常任委員会が現況を調査し、後日その過

総務常任委員会

洞爺地域

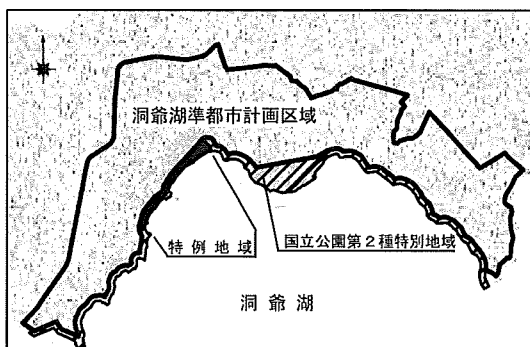
Q1 洞爺地区の自然公園区域と準都市計画区域では景観や環境保全に対する規制が違うので関係機関と連絡調整ができないか。

A1 規制の強化等の変更には町からの要望書の提出が必要であり、そのためには土地利用等に関する具体的な考え方を示した上での取り組みとなる。

洞爺湖温泉地域

Q2 町内に空き家が多い。公共事業等で解体できないか。環境の良い町づくりの上からも努力されたい。

程や結果をお知らせする、と分類した項目がありました。その調査結果をお知らせいたします。



A2 現在空き家の所有者の実態調査をしています。所有者の意向調査が終わればホームページ等を通じて周知したい。

また、私有財産であり公共事業での解体は困難である。

本町地域

Q3 西山火口のトイレが少なくて修学旅行の団体は20〜30分も待たされ次の予定に支障があると聞いている。増設等の対応をお願いしたい。

A3 トイレの増設は財政上難しいので、ビジターセンターや火山科学館、または、湖畔周辺に設置されている公衆トイレを使用してほしい。このことは、担当課から旅行者者にも話してあります。

Q4 地域経済活性化対策として住宅リフォーム支援事業の説明があったが、地域がら春から行うべきではなかったか。

A4 新年度からは経済効果を高めるためにも、年度初めに実施出来るように取り組んでいく計画でいます。

社会文教常任委員会

洞爺地域

Q1 介護保険料、後期高齢者保険料の過徴収分の還付に当り一言の謝罪もなかった。職員の対応に憤りを感じる。

A1 両保険料とも年金から天引きされる「特別徴収」の扱いになるので、保険料の確定までの仮徴収と決定後の本徴収の時期が離れているため、年度で保険料が変わる場合に発生する可能性があります。制度的に起きる問題で、担当課ではわかりやすく説明して対応することとしています。

Q2 洞爺高校の存続について検討課題となっている。

住民に十分説明し、意見も聞いてほしい。給食センター、保育所の統合についても同様。

A2 町内高校のあり方については、12月定例会で所管事務調査(閉会中)の承認を受けており、3月定例会には委員会としての意見をまとめて報告いたします。

本町地域

Q3 中島のエゾ鹿対策について、議会の考え方はあるのか。元気な中島に戻してほしい。

A3 本年、新しくエゾ鹿対策の組織が作られることにな

っており、協議されると聞いています。議会として推移を見守ると同時に何らかの係わりを持つとうと考えています。

Q4 花火カラの湖底への沈殿や火薬の使用で湖の沈殿はどうなっているのか。

A4 水質検査での問題は発生しておらず、昨年、ダイバーの潜水では、湖底での沈殿物は確認されておりません。花火カらは業者に回収が義務付けられていることから、業者への指導や観光協会による定期的な湖底調査など担当課に確認するように要請しました。



建設常任委員会

洞爺地域

Q1 芸術館通りの整備については、建設委員会の資料に掲載されていない。また、着工時期等を地域住民に情報提供してほしい。

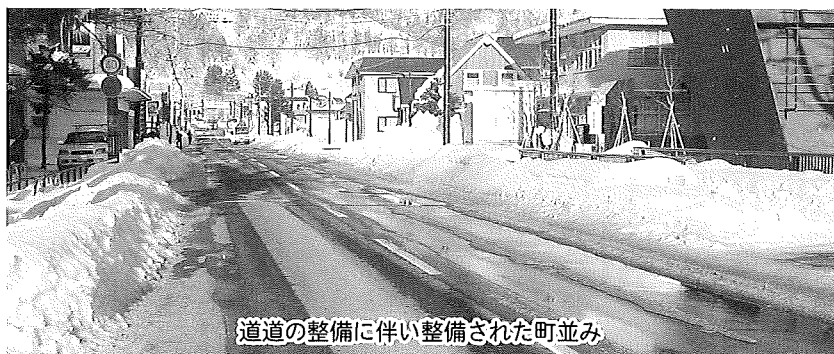
A1 次回開催時には更に詳しい資料を用意できるように努力いたします。ご指摘の情報提供については町に申し伝えました。

Q2 国の緊急経済対策事業で公共施設の修理等を行っているが、住民の要望も聞いてほしい。また、工事の予定も知らせしてほしい。

A2 ご要望通り、町に申し入れました。

Q3 洞爺2号線改修工事で道路は良くなったが、排水溝が未整備でつまづく恐れがある。

A3 後日確認した結果、良好な状態に整備されていた。



道道の整備に伴い整備された町並み

Q4 洞爺地区の道道山側の町並み整備実施の可能性は、また、その情報は聞いているか。

A4 道道整備は北海道主体の事業となっており、町議会に直接の権能はありませんが、情報提供等地域の要望は町を通じて道に求めたいと思います。

洞爺湖温泉地域

Q5 ビジターセンター、道道までの町道を大型バスが通行する事がある。マンホールを撤去するなどして拡幅してほしい。

A5 町の担当職員とともに現地調査を致しました。現況を把握するとともに改善を町に申し入れました。

Q6 旧国道230号線と道道の交差点付近から噴水広場までの街灯が暗い。更新・増設の予定は。(オレンジ色の明るいナトリウム灯への変更)また、民間社宅前の樹木の枝払いをしてほしい。

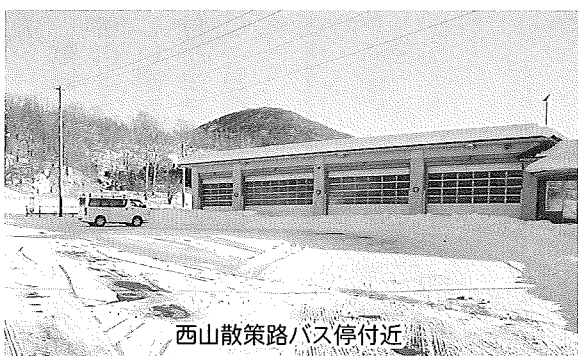
A6 町の職員とともに現地調査をし、説明を求めました。ご指摘の個所の照明については、町で更新計画を持っています。財政状況から未着手になっています。また、主流がナトリウム灯から環境に配慮したLED灯へと変わっています。これらも見て判断したいとの説明でした。

委員会としては、財政状況が落ち着き次第、更新に着手

するよう求めました。

また、民有地内の枝払いについては、当事者に行なっていたことが基本と考えます。**Q7** 西山散策路の入り口付近に未舗装部分があるので舗装してほしい。トイレがわかりづらいのではないかと。家の裏の町有地の草刈りを定期的にしてほしい。西山散策路に来る観光バスが定期バスの邪魔になる事があるので改善してほしい。

A7 町職員とともに委員会で現地視察を行い、全てを町に申し入れました。



西山散策路バス停付近

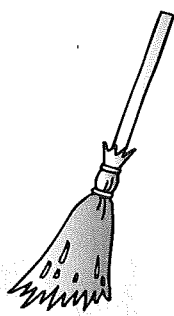
Q8 公園からとうや湖コミュニティセンター前までのバス停への歩道が無いし暗い。冬期間の除雪もしてほしい。

A8 職員とともに視察し、この事を伝えました。公園の中に遊歩道があり、除雪をこまめにするように要望しました。将来的なバス停のあり方について、バス会社と検討するように町に要請いたしました。

Q9 駅前大通りの先の海浜地は自治会や子供会で清掃しているが、工事の廃材と思われるものが散在している。これに対応してほしい。

A9 自治会や子供会での清掃ボランティア活動に心より感謝申し上げます。

廃材が散在しているとのことだったので、後日委員会で現地調査を行いました。すでに片づけられたのか、確認できませんでした。



全国議長研修会

去る、平成22年11月17日、東京都NHKホールで開催され出席してきました。

今回の主題「地域主権改革の実現を目指して」の会長挨拶、主旨説明のあと、内閣総理大臣・衆参議長他の祝辞、来賓挨拶がありました。その後、議長団選出の後、議事に入りました。

- ①要望：町村の財政の強化など23件
- ②決議：地域主権改革など14件
- ③特別決議：地域主権関連法案の早期実現に向けてなど4件
- ④実行運動方法の確認を行い満場一致で可決されました。

続いて第35回豪雪地帯町村議長大会が開かれ、予算・要望など緊急の問題が議決されました。

絵紙の表紙

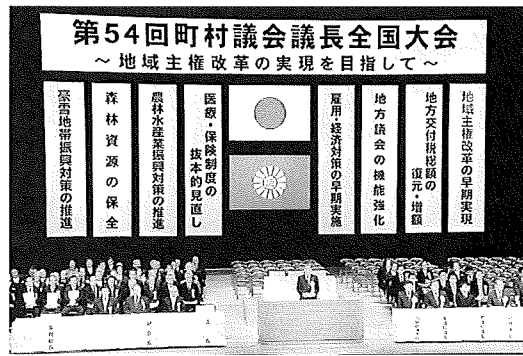
今月号から2回にわたり「絵手紙の会」にお願いいたしました。今回の表紙は高砂町在住の菅原 勇氏の作品です。

この作品は、(社)全国治水砂防協会主催による「第1回暮らしを守る砂防写真・絵手紙コンテスト」の絵手紙部門で最優秀賞を受賞されました。



ました。

その後、松本健一氏による「まちの生き死に」と題し特別講演があり、町づくりに大変参考になる話でした。



東京あぶた。とやや湖会

11月13日、ライオン銀座クラシックホールで開催された

第35回東京あぶた・とやや湖会に出席いたしました。

出席者70名のもと、この会に貢献され逝去された稲葉氏、三河氏、八巻氏に黙祷をささげ、三浦会長の挨拶と真屋町長より挨拶が行われました。

洞爺湖町の現状報告では縄文サミットの開催、世界ジオパークの認定、洞爺湖温泉誕生100年の記念行事が開催されたことが報告されました。さらに、早期健全化団体のついでと財政健全化計画が実施されたことも報告されました。その後、歓談に入りました。

久方振りにお会いできたふる里の方々は、町の現況、特に財政状況については大変心配されていました。また、噴火後の町並みはどの様に復旧されたのか、また、漁業に関しても同様にたずねられました。

た。

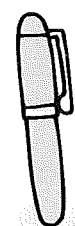
歓談の中で洞爺地区との合併によるメリットとして、新しい観光スポットや豊富な食材が生まれたことなどを説明し、お願いや報告を、お会い

した一人ひとりに語りかけました。

歓談はあっという間に過ぎ、皆さんと再会を誓い別れを告げました。

(文責 松井)

編集後記



12月定例会は、真屋町長8ヶ月経過の執行状況と、平成23年度の予算編成前とあつて、12名の議員が一般質問に登壇しました。

また、最終日には、北海道の農水産業と関連産業は壊滅的な打撃を受け、地域経済崩壊が心配されるTPP(環太平洋経済連携協定)

への参加に反対する意見書を全員一致で可決し、政府に提出しました。

異常気象が続いています。主に日本海側各地でドカ雪が降り交通障害が起きています。島根県や鳥取県の港湾では、係留している漁船等が転覆したり、沈没の被害が起きています。これも地球温暖化が引き起こしていると思っています。

新しい年が安全・安心の一年である事を祈っています。

(文責・大西)